

2027年3月期 第1四半期

決算説明資料

アドソル日進株式会社 (TSE 3837) | 2026年8月6日



アドソル日進の2027年3月期 第1四半期決算についてご説明します。

Index

1. 業績ハイライト
2. 2027年3月期 第1四半期連結業績
3. 成長戦略の進捗
4. 2027年3月期 業績予想・配当予想
5. Appendix

本資料では、こちらの項目についてご説明します。

01

業績ハイライト

- 2027年3月期 業績見通し
- 2027年3月期 第1四半期 業績ポイント

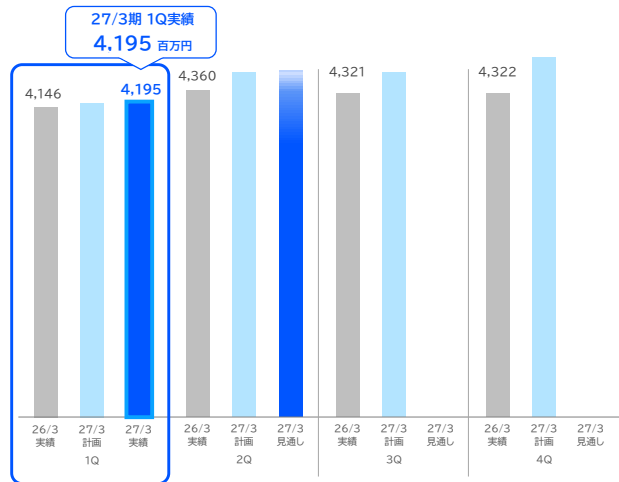
Copyright © 2026 Ad-Sol Nissin Corporation, Japan. All Rights Reserved.

3

はじめに、2027年3月期 第1四半期 業績ハイライトをご説明します。

四半期売上高の期初計画・実績

(百万円)

4期連続 過去最高業績へ
計画どおりの進捗

- オファリングビジネスの新規立上げ、AI・データを軸としたビジネス構造改革の変化等を吸収しつつ、過去最高売上高・利益を目指す
- 27/3期は下期にかけて段階的に業績が伸長する計画。1Qは、期初計画に対し想定どおりの進捗（電力をはじめ、複数大型案件が下期以降に開発スタート予定）
- 「4期連続 過去最高業績達成」に向けて堅調なスタート

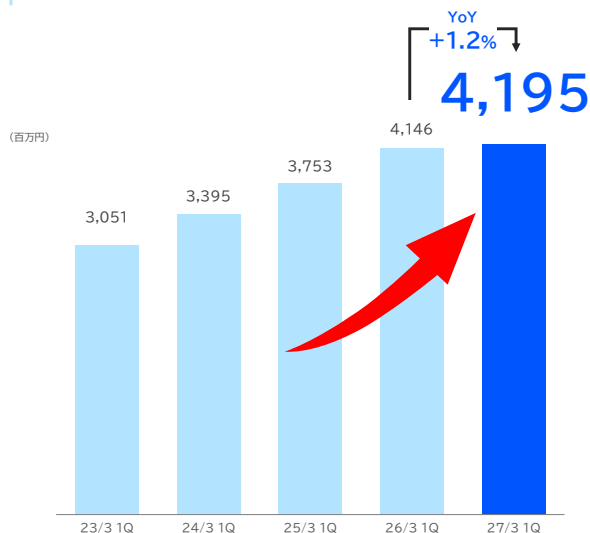
Copyright © 2026 Ad-Sol Nissin Corporation, Japan. All Rights Reserved.

4

【2027年3月期 業績見通し】

- オファリングビジネス新規立上げ、AI・データを軸としたビジネス構造改革の変化等を吸収しつつ、過去最高売上高・利益を目指す計画
- 27/3期は下期にかけて段階的に業績が伸長する計画。1Qは、期初社内計画に対し想定どおりの進捗（電力をはじめ、複数大型案件が下期以降に開発スタート予定）
- 「4期連続 過去最高業績達成」に向けて堅調なスタート

売上高



第1四半期としての
過去最高売上高を更新

- 顧客の旺盛なIT投資ニーズが継続
- テーマは景気に左右されにくい
①DX ②AI ③デジタルデータ ④システム刷新 等
- 社会インフラ事業のエネルギー(ガス)、交通・運輸、
公共を中心に、DX案件などが好調に推移

Copyright © 2026 Ad-Sol Nissin Corporation, Japan. All Rights Reserved.

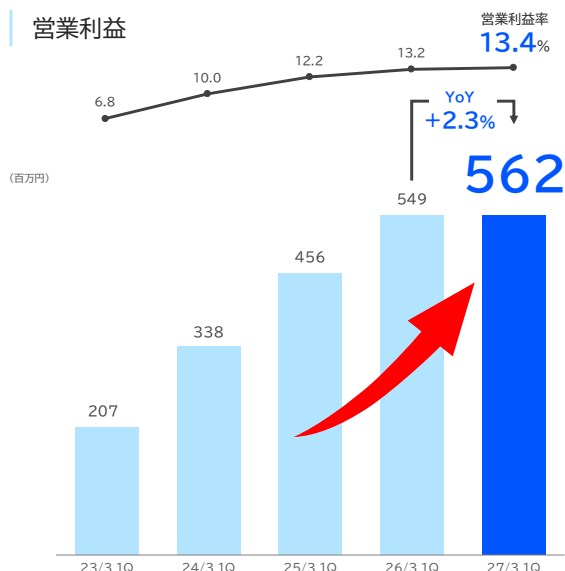
5

【2027年3月期 第1四半期 業績ポイント | 売上高】

- 第1四半期として過去最高を更新

売上高 : 4,195百万円 (前年同期比 1.2%増)

- 顧客の旺盛なIT投資ニーズが継続。
テーマは景気に左右されにくい「DX」「AI」「デジタルデータ」「システム刷新」等



営業利益・率ともに
第1四半期として **過去最高** を更新

単価アップ、コンサルティング等の
高収益案件が寄与し、
売上総利益率が大きく良化 (26/3 1Q 27/3 1Q
30.4%→32.1%)

中期経営計画に基づく事業拡大を見据えて
大幅に増強した新入社員73名(前年は49名)の
人件費・研修費用等による販売管理費の増加を吸収

【2027年3月期 第1四半期 業績ポイント | 営業利益】

- 営業利益・営業利益率ともに第1四半期として過去最高を更新

営業利益 : 562百万円 (前年同期比 2.3%増)
営業利益率 : 13.4% (前年同期比 0.2ポイント増)

- 単価アップやコンサルティング等の高収益案件が寄与し、
売上総利益率が32.1%(前年同期比 1.7ポイント増)と大きく良化し、
全四半期を通じて過去最高を更新
→ 中期経営計画に基づく事業拡大を見据えて大幅に増強した2026年4月入社の
新入社員73名(前年は49名)の人件費やその研修費用などによる販売管理費の
増加を吸収

02

2027年3月期 第1四半期連結業績

- 損益計算書
- セグメント別業績
- 四半期推移
- 経常利益の分析
- 貸借対照表

Copyright © 2026 Ad-Sol Nissin Corporation, Japan. All Rights Reserved.

7

2027年3月期 第1四半期の連結業績をこちらの項目別にご説明します。

(百万円)	26/3 1Q	27/3 1Q		
	実績	実績	増減額	増減率(%)
売上高	4,146	4,195	49	1.2
社会インフラ事業	2,672	2,928	256	9.6
先進インダストリー事業	1,473	1,266	△206	△14.0
うち、ソリューション事業	302	316	13	4.6
売上総利益	1,261	1,346	85	6.7
売上総利益率(%)	30.4	32.1	-	-
販売管理費	712	784	72	10.1
販売管理費率(%)	17.2	18.7	-	-
営業利益	549	562	12	2.3
営業利益率(%)	13.2	13.4	-	-
経常利益	551	565	14	2.6
経常利益率(%)	13.3	13.5	-	-
四半期純利益	365	383	18	5.1
四半期純利益率(%)	8.8	9.1	-	-

POINT

売上高

1Qとして過去最高売上高を更新

顧客の旺盛なIT投資ニーズが継続。
社会インフラ事業のエネルギー(ガス)、
交通・運輸、公共分野が成長をけん引

売上総利益

売上総利益率 全四半期を通じて過去最高

単価アップに加えて、コンサルティング等の
高収益案件が増加

営業利益

営業利益・率ともに1Qとして過去最高

中期経営計画に基づく事業拡大を見据えて
大幅に増強した新入社員の人件費・研修費用
などによる販売管理費の増加を、売上総利益
率の良化が吸収

【損益計算書】

- 売上高総利益率が全四半期を通じて過去最高となる32.1%に
- 売上高・利益も第1四半期として過去最高を更新
→ 変動要因・トレンドはスライドのとおり

(百万円)	26/3 1Q		27/3 1Q			
	実績	構成比(%)	実績	構成比(%)	増減額	増減率(%)
全社	4,146	100.0	4,195	100.0	49	1.2
社会インフラ事業	2,672	64.5	2,928	69.8	256	9.6
エネルギー	1,965	47.4	1,951	46.5	△13	△0.7
交通・運輸	314	7.6	425	10.1	110	35.1
公共	290	7.0	409	9.8	119	41.1
通信・ネットワーク	101	2.5	142	3.4	40	39.8
先進インダストリー事業	1,473	35.5	1,266	30.2	△206	△14.0
製造	335	8.1	293	7.0	△42	△12.6
サービス	871	21.0	770	18.4	△100	△11.6
エンタープライズ	266	6.4	202	4.8	△63	△24.0
うち、ソリューション事業	302	7.3	316	7.6	13	4.6

POINT

社会インフラ事業

DX・モダナイゼーション対応継続

- 【エネルギー】
 - 電力領域：新規大型案件複数立上げ、新テーマ対応準備（下期から開発スタート予定）
 - ガス領域：制度対応、モダナイゼーション案件（システム基盤のクラウドリフト・刷新等）や、「AgileLeap（アジャイルリープ）」を活用したシステム構築対応などが好調

【交通・運輸】

- 鉄道関連システムが拡大

【公共】

- 安全保障関連システムが好調

先進インダストリー事業

データマネジメント/AIへの特化・構造改革

次世代SIビジネス推進に向けた構造改革に着手。上記影響、前期大型案件終了の反動等もあり減収

【サービス（決済・カード）】

- クレジットカード会社向けDX案件（データマネジメント関連）が堅調に推移

【セグメント別業績 1. 売上高】

- 社会インフラ事業：2,928百万円（前年同期比 9.6%増）
→ エネルギー（電力）新規大型案件の複数立上げ、新テーマ（GX）対応準備。
エネルギー（ガス）、交通・運輸、公共が大幅拡大
- 先進インダストリー事業：1,266百万円（前年同期比 14.0%減）
→ 次世代SIビジネス推進に向けて、
データマネジメント/AIへの特化・構造改革に着手
- ソリューション事業：316百万円（前年同期比 4.6%増）
→ GIS関連ソリューション好調。
オフアリング提案に向けたアセット化を推進

2027年3月期 第1四半期連結業績 | セグメント別業績 2. 受注高・受注残高

受注高：前期発生した受注期ずれ(交通・運輸)及び前期大型案件受注(サービス)の反動による影響
 受注残高：第1四半期として過去最高を更新

(百万円)	受注高				受注残高			
	26/3 1Q 実績	27/3 1Q 実績	増減額	増減率(%)	26/3 1Q 実績	27/3 1Q 実績	増減額	増減率(%)
全社	4,128	4,064	△63	△1.5	3,230	3,533	303	9.4
社会インフラ事業	2,742	3,049	307	11.2	2,195	2,547	352	16.1
エネルギー	1,924	2,059	134	7.0	1,733	1,993	260	15.0
交通・運輸	417	291	△126	△30.2	233	132	△101	△43.4
公共	349	536	187	53.6	216	289	73	33.9
通信・ネットワーク	51	162	111	217.9	12	132	119	965.4
先進インダストリー事業	1,386	1,014	△371	△26.8	1,034	985	△48	△4.7
製造	326	299	△26	△8.2	196	223	26	13.7
サービス	801	547	△254	△31.7	652	673	20	3.2
エンタープライズ	257	167	△90	△35.1	185	89	△96	△51.8

Copyright © 2026 Ad-Sol Nissin Corporation, Japan. All Rights Reserved.

10

【セグメント別業績 2. 受注高・受注残高】

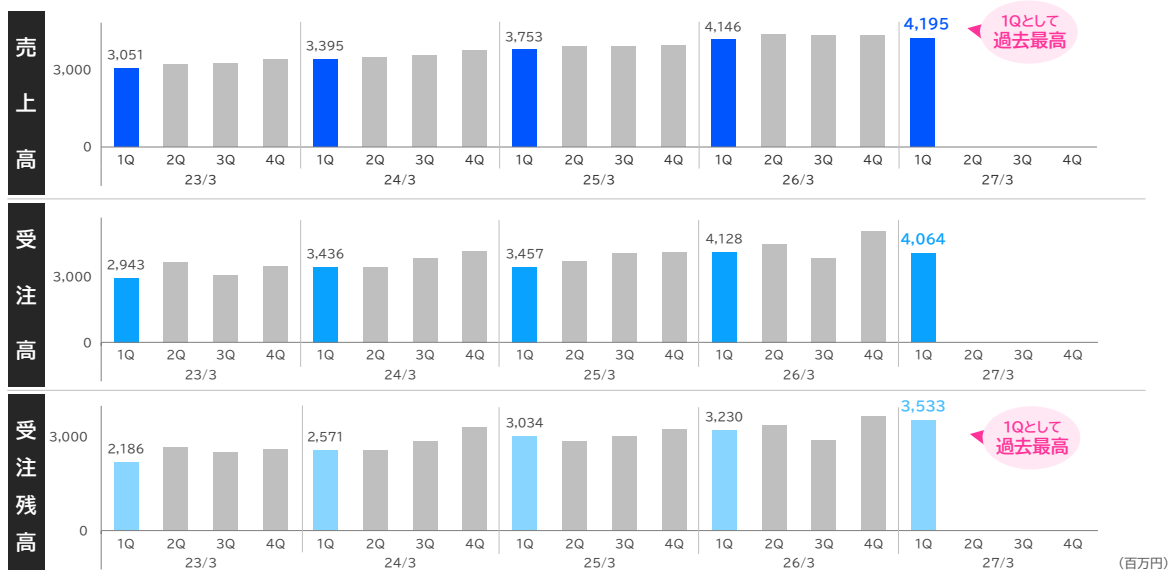
- 受注高は、前期発生した受注期ずれ(交通・運輸)及び前期大型案件受注(サービス)の反動による影響で減少
 ※期ずれ影響を除いた場合、前年を上回る水準

受注高：4,064百万円(前年同期比 1.5%減)

- 受注残高が第1四半期として過去最高を更新。
 「中期経営計画達成のための投資を行い、かつ4期連続 過去最高業績更新」という今期の目標に向けて、堅調なスタート

受注残高：3,533百万円(前年同期比 9.4%増)

2027年3月期 第1四半期連結業績 | 四半期推移



Copyright © 2026 Ad-Sol Nissin Corporation, Japan. All Rights Reserved.

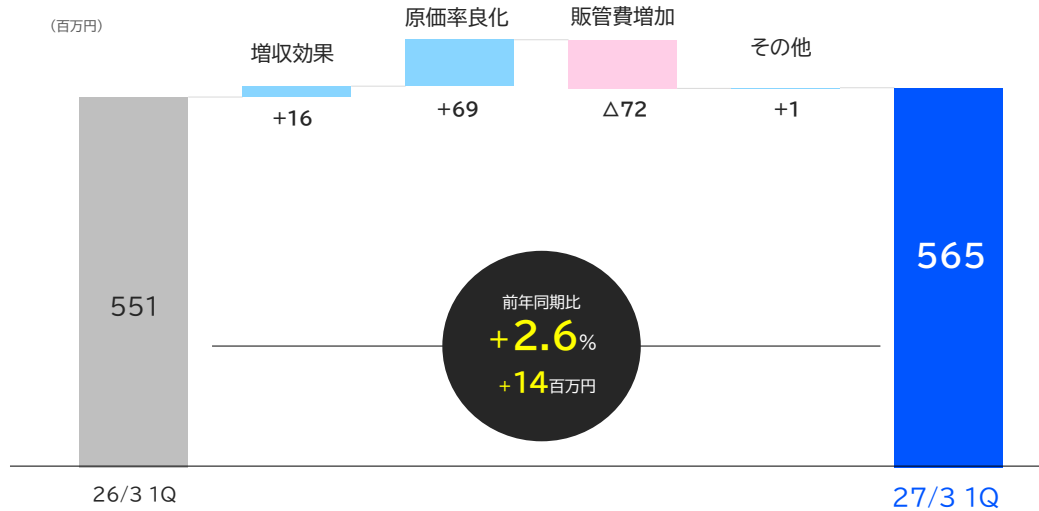
11

【四半期推移(売上高・受注高・受注残高)】

- ・ 四半期推移は、スライドのとおりです

2027年3月期 第1四半期連結業績 | 経常利益 増減分析

増収効果と原価率の良化が販売管理費の増加(新入社員 人件費・研修費用等)を吸収し、増益



Copyright © 2026 Ad-Sol Nissin Corporation, Japan, All Rights Reserved.

12

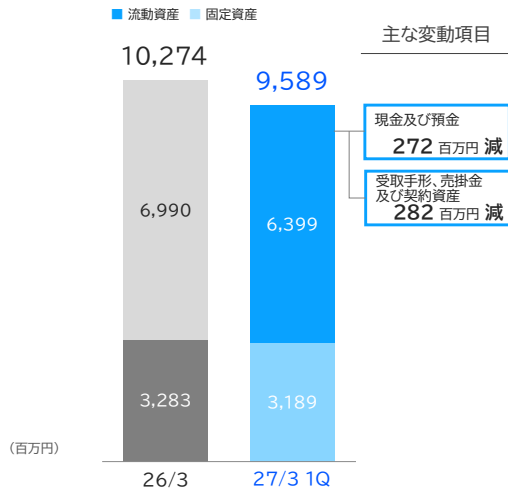
【経常利益 増減分析】

- 増収効果及び原価率の良化が販売管理費の増加を吸収

2027年3月期 第1四半期連結業績 | 貸借対照表

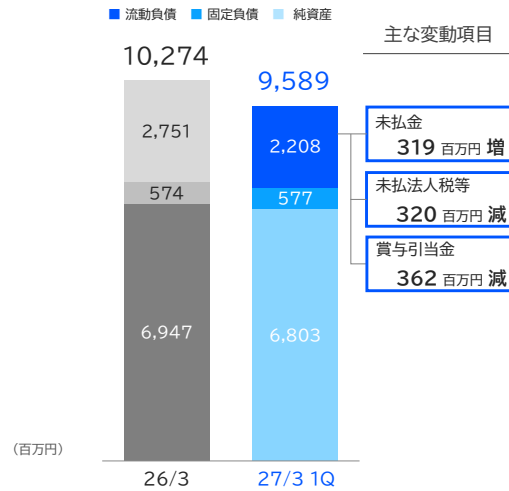
資産

・ 総資産 95億円



負債・純資産

・ 自己資本比率 68.8%



Copyright © 2026 Ad-Sol Nissin Corporation, Japan, All Rights Reserved.

13

【貸借対照表】

- ・ 貸借対照表はスライドのとおりです

03

成長戦略の進捗

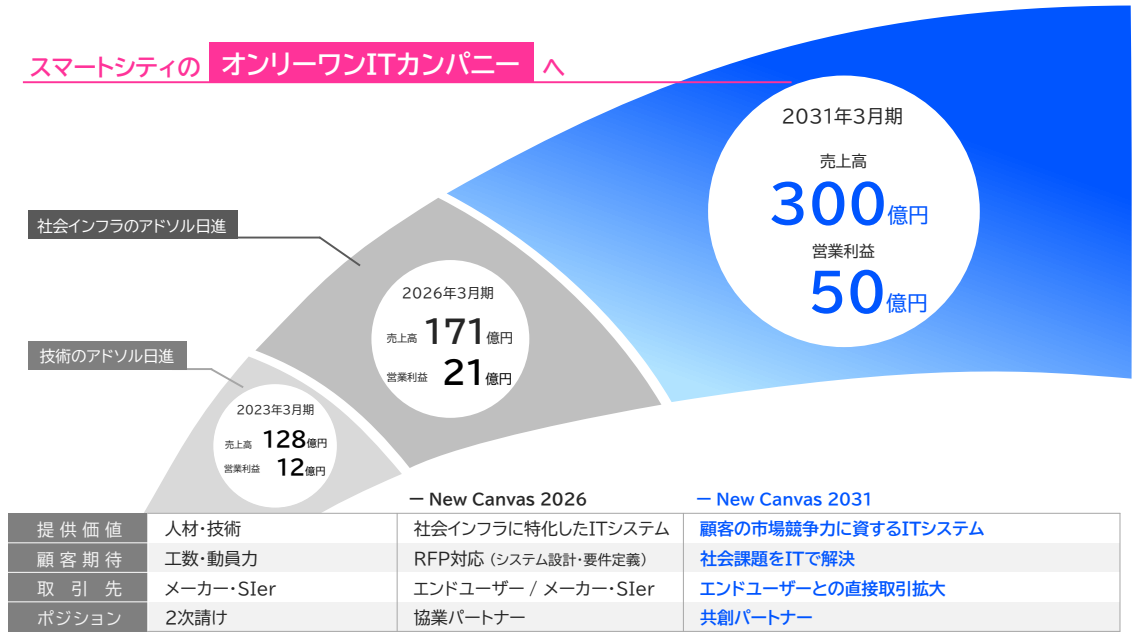
- 中期経営計画 New Canvas 2031
- 2027年3月期 注力ポイント
- オファリングビジネス
- 次世代SIビジネス
- 新技術対応
- 持続的な成長に向けて

Copyright © 2026 Ad-Sol Nissin Corporation, Japan. All Rights Reserved.

14

次に、2027年3月期の成長戦略の進捗についてご説明します。

スマートシティの **オンリーワンITカンパニー** へ



Copyright © 2026 Ad-Sol Nissin Corporation, Japan. All Rights Reserved.

15

【中期経営計画 New Canvas 2031 | 業績目標】

- デジタル化されたスマートシティのインフラを支える「スマートシティのオンリーワンITカンパニー」へ
- 2031年3月期：売上高 300億円
営業利益 50億円

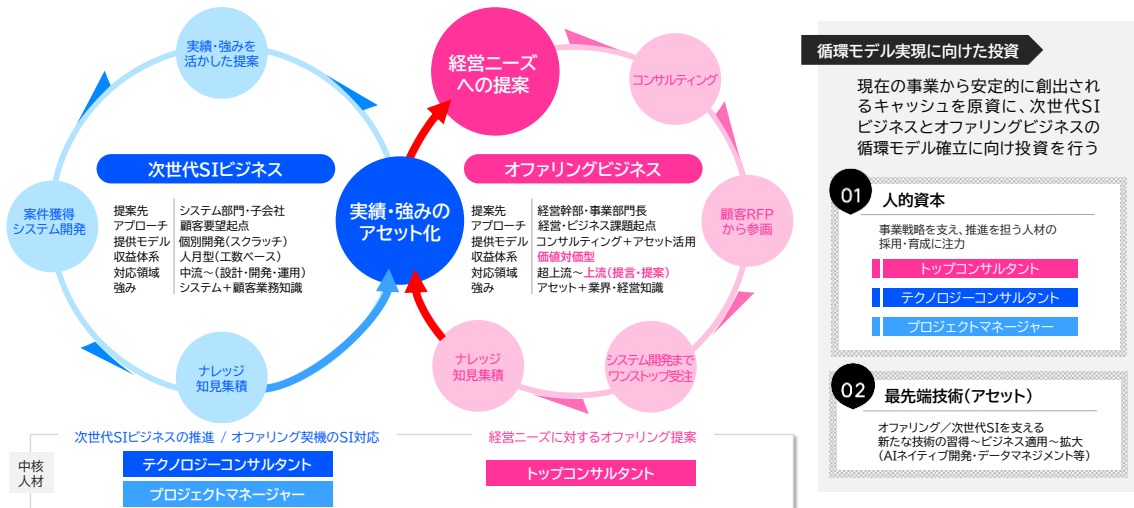


【中期経営計画 New Canvas 2031 | 事業ポートフォリオ構想】

- ・ ベースロード : 次世代SIビジネス
→ DX・AX(AI Transformation)やミッションクリティカルなシステム等に幅広く対応
- ・ 新たな成長事業の柱 : オファリングビジネス
→ 次世代SIビジネスで得た強みやアセットを活かしたコンサルティング、ソリューションの提案・提供を推進
- ・ 注力領域は、社会インフラ分野で培ってきた実績・強みを活かせるスマートシティのテーマ「エネルギー」「交通」「まちづくり」
- ・ さらに、経営基盤をより強固にするため基盤戦略を推進

多様化・高度化するニーズに対応し、さらなる成長を遂げるため

次世代SIへの対応力を強化するとともに、実績・強みのアセット化によるオフアリングビジネスに挑戦



Copyright © 2026 Ad-Sol Nissin Corporation, Japan. All Rights Reserved.

17

【中期経営計画 New Canvas 2031 | 次世代SIビジネスとオフアリングビジネスの循環モデルの実現へ】

- 次世代SIで培った実績・スキル・技術を会社全体の共有財産としてアセット化し、顧客の経営ニーズに提案
- オフアリング提案・コンサルティング等を経て案件を獲得し、再び次世代SIのシステム開発に還流するという、両輪による循環モデルを構築
- これらビジネスを担う人材の育成を強化
 - オフアリングを推進する「トップコンサルタント」
 - 次世代SIビジネスをけん引する「テクノロジーコンサルタント」「プロジェクトマネージャー」「高度ITエンジニア」

2027年3月期 注力ポイント

オフリングビジネス



実績・強みのアセット化による
潜在ニーズへの提案

次世代SIビジネス



高度化・複雑化する顧客ニーズに
的確・柔軟に対応するシステム開発

新技術対応



オフリング／次世代SIを支える
新たな技術の習得～ビジネス適用～拡大

持続的な成長に向けて

事業成長と資本収益性を支える経営基盤の強化 | 事業の変革を支えるとともに、戦略推進を加速

【2027年3月期 注力ポイント】

- ・「スマートシティのオンリーワンITカンパニー」を目指して
- ・2027年3月期は、スライドに示した4つのポイントに注力

エネルギー、交通、まちづくりの注力3市場に対し、当社独自の強みアセットを活かした提案活動を展開
下期以降の案件受注～拡大を図る

● 1Q提案/受注活動中

1Q(立ち上げ時期)に活用した
主な強みアセット

オフリングビジネス注力3市場



エネルギー



交通



まちづくり



GIS



データ

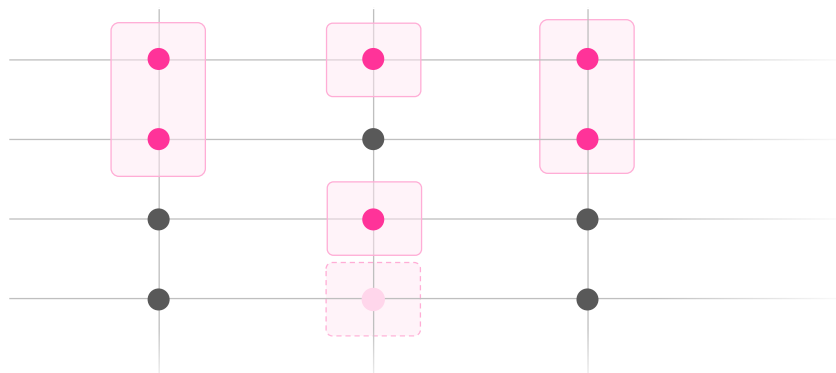


プラットフォーム開発



AI

...



【オフリングビジネス | 進捗】

- エネルギー、交通、まちづくりの注力3市場に対し、
当社独自の強みアセットを活かした提案活動を展開
→ 下期以降の案件受注～拡大を図る

AgileLeapのサービスメニューを強化

プロジェクト管理プラットフォーム「Techkan -テックカン-」の提供を開始



Copyright © 2026 Ad-Sol Nissin Corporation, Japan. All Rights Reserved.

20

【次世代SIビジネス | アジャイル開発特化型サービス AgileLeap -アジャイルリープ-】

- AgileLeapのサービスメニューを強化
プロジェクト管理プラットフォーム「Techkan -テックカン-」の提供を開始

Techkan サービスサイト

<https://adniss.jp/sol-top/techkan.html>

人とAIが協働することで、より速く・より高品質なシステム・ソリューションの提供へ

AIのシステム開発適用に向けた主な取組み

AI開発環境



米国・AnthropicのAIエージェントツール「Claude Code」を全社開発で利用可能に

Claude CodeとGitHub Copilot、当社独自の生成AI「AdsolChat」を使い分け、顧客特性やセキュリティ要件に応じてAI駆動/AIネイティブ開発環境を最適化

AI品質・統制基盤



AI開発における品質・安全性の両立を実現する品質・統制基盤を整備

AI資産(統制/ナレッジ/ガバナンス)プラットフォームを構築中。
高付加価値なAIサービスとAI開発手法を組み合わせ、顧客に提案

AIサービスの提案拡大へ

AIビジネス推進部を中心に、AI駆動/AIネイティブ開発を前提としたサービスメニューを拡充

顧客への提供価値のさらなる向上を目指す



顧客ビジネスへのAI活用の支援、コンサルティング活動の強化



AIを活用した次世代のデータマネジメント支援へ

【新技術対応 | AIのシステム開発適用】

- 人とAIの協働により、より速く・より高品質なシステム・ソリューションの提供へ
- AI開発環境、及びAI品質・統制基盤の整備を推進
→ 米国・AnthropicのAIエージェントツール「Claude Code」を全社開発で利用可能に
- AI駆動/AIネイティブ開発を前提したサービスメニューの拡大へ

Team Space Data Lab -チーム スペースデータラボ- 宇宙データ探求塾開催決定

- ・ 高校生・高専生を対象とした衛星データの利活用体験プログラム。
講義・ワークショップを通じて「宇宙IT人材」の育成に貢献
- ・ 宇宙ビジネス共創プラットフォームクロスユーにて、2026年8月に開催予定
※ 詳細はこちら(<https://note.com/adsolir/n/n7e1c5f988ae7>)からご覧ください。



| 2025年7月開催 宇宙データ探求塾の様子



▲ 当社AI研究所による講義



▲ グループワーク

【持続的な成長に向けて | 研究開発】

- ・ Team Space Data Lab -チーム スペースデータラボ- が、高校生・高専生を対象とした衛星データの利活用体験プログラム「宇宙データ探求塾」を2026年8月に開催決定

「宇宙データ探求塾」紹介ページ

<https://note.com/adsolir/n/n7e1c5f988ae7>

04

—— 2027年3月期 業績予想・配当予想

- 2027年3月期 業績予想
- 2027年3月期 配当予想

2027年3月期 業績予想・配当予想です。

2027年3月期 業績予想

4期連続 最高業績(売上高・利益)達成に向けて

- ・ 2026年5月12日に発表した業績予想から変更なし
- ・ DX・AI・デジタル化をキーワードとした顧客の旺盛なIT投資意欲のもと、当社への強い引き合いが継続
- ・ 中長期的な成長・拡大に向けて、人材育成や、AI・データマネジメント等の新技術の強化に向けた積極的な投資を実行

(百万円)	26/3 実績		27/3 業績予想		通期予想 増減額	通期予想 増減率(%)
	中間期	通期	中間期	通期		
売上高	8,506	17,151	8,800	18,200	1,048	6.1
営業利益	1,103	2,145	1,150	2,400	254	11.9
営業利益率 (%)	13.0	12.5	13.1	13.2	0.7P	-
経常利益	1,136	2,215	1,180	2,470	254	11.5
経常利益率 (%)	13.4	12.9	13.4	13.6	0.7P	-
当期純利益	750	1,511	770	1,610	98	6.5
当期純利益率 (%)	8.8	8.8	8.8	8.8	0.0P	-

Copyright © 2026 Ad-Sol Nissin Corporation, Japan, All Rights Reserved.

24

【2027年3月期 業績予想】

- ・ 2026年5月12日に発表した業績予想から変更なし
- ・ DX・AI・デジタル化をキーワードとした顧客の旺盛なIT投資意欲のもと、当社への強い引き合いが継続
- ・ 中長期的な成長・拡大に向けて、人材育成や、AI・データマネジメント等の新技術の強化に向けた積極的な投資を実行

17 期連続増配へ

(円)	26/3	27/3	
		配当予想	増配
年間	46	48	+2
中間	18	24	+6
期末	28	24	△4

48円

創立50周年
記念配当

(円)	10/3	11/3	12/3	13/3	14/3	15/3	16/3	17/3	18/3	19/3	20/3	21/3	22/3	23/3	24/3	25/3	26/3	27/3 (予想)
1株当たり当期純利益(円)※	1.5	5.40	4.41	6.8	9.95	13.17	16.25	29.59	30.65	37.95	44.99	48.65	42.30	45.20	52.54	65.80	86.85	95.61
1株当たり配当金(円)※	1.15	1.65	2.0	2.05	3.0	4.75	6.5	10.0	10.5	13.5	16.0	17.5	18.0	19.0	21.5	30.0	46.0	48.0
ROE	1.6%	5.5%	4.4%	6.3%	8.8%	10.4%	11.5%	18.8%	17.2%	18.9%	19.8%	17.2%	14.2%	13.6%	14.3%	17.2%	22.2%	22.7%
配当性向	74.7%	30.9%	45.4%	30.7%	30.2%	36.1%	40.0%	33.8%	34.3%	35.6%	35.6%	36.0%	42.5%	42.0%	40.9%	45.6%	53.0%	50.2%
DOE	1.2%	1.7%	2.0%	1.9%	2.7%	3.8%	4.6%	6.4%	5.9%	6.7%	7.0%	6.2%	6.0%	5.7%	5.8%	7.7%	11.6%	11.4%

※ 1株当たり当期純利益及び1株当たり配当金は、株式分割を考慮した額を記載しています（2014年1月1日に1株につき3株、2016年10月1日に1株につき2株、2025年4月1日に1株につき2株の株式分割を実施）。

【2027年3月期 配当予想】

- 2027年3月期 年間配当金 ： 48円（前期比+2円）
- 17期連続増配達成見込み

05

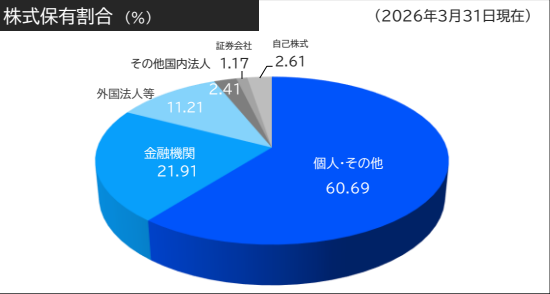
Appendix

Company Profile-会社概要-	
社名	アドソル日進株式会社 Ad-Sol Nissin Corporation
本社	東京都港区港南4丁目1番8号 リバージュ品川
拠点	大阪、福岡、名古屋、仙台、米国サンノゼ
設立	1976年3月13日
代表者	代表取締役社長 篠崎 俊明
従業員数	連結 723名(2026年4月1日現在)
売上高	171.5億円(2026年3月期)
上場市場	東証プライム 3837
発行済株式数	17,289,930株 (2026年3月31日現在)
子会社	・アドソル・アジア(株) (オフショア開発拠点:ベトナム) ・Adsol-Nissin San Jose R&D Center, Inc. (サンノゼR&Dセンター)

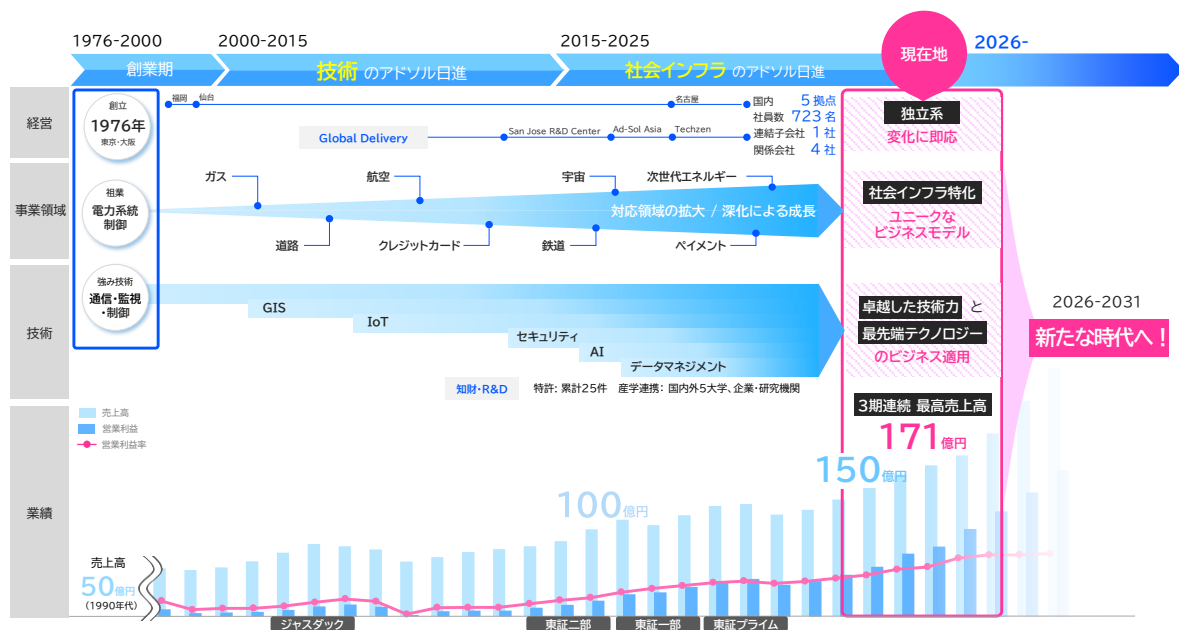
Our Mission -私たちの使命-

Corporate Philosophy -企業理念-

私たち アドソル日進は
高付加価値サービスの創造・提供を通じて
お客様の満足と豊かな社会の発展に貢献します



創立50年ー「技術のアドソル日進」から「社会インフラのアドソル日進」へ進化 そして新たな時代へ



グローバル・デリバリー体制

米国～アジア～日本をつなぎ、グローバル・ネットワークで最先端DXソリューションを提供します

Appendix



GIS 地理情報システム	 COCOYA	店舗情報マッピングサービス
	 DOCOPA	AI機能搭載・SaaS型 商圈分析ソリューション
	ArcGIS	政府・官公庁、大学、研究機関などでも利用される高度な分析やシミュレーション
	 mapbox	ビジュアライゼーションに優れたデジタル地図の開発プラットフォーム
IoT空間情報	 uSIGMA	屋内・屋外の位置情報をシームレスに見える化
企業変革ソリューション LeapX	 AgileLeap	DXによるビジネス変革と素早い価値提供に貢献
	 CloudLeap	クラウド上に持続可能かつ効率的なITシステムを構築
	 DxDLeap	データドリブンによるビジネス変革の迅速化・高度化を支援
AI	 +Aldea プラスアイデア	AI活用に安心と信頼をー AIコンサルティング&エンジニアリングサービス
グローバル	 +Global プラスグローバル	DX推進の鍵を握る”価値・安全・成長”を一体支援するグローバルITサービス
	 Techkan	AI開発時代に“誰でも実践できる”アジャイル開発をープロジェクト管理プラットフォーム

Point
01 AI研究所



お客様のDXやビジネス変革に貢献すべく、先進AI技術の研究・AIシステム構築・AI人材育成等を推進。当社AIサービスの高度化と新たな価値創出に取り組んでいます。

- 産総研「AI品質向上プロジェクト」への参画
- 自社開発の生成AIサービス「AdsolChat」の構築
- 宇宙衛星データ活用へ「チーム Space Data Lab」を結成

Point
02 サンノゼR&Dセンター



世界の最先端テクノロジーの中心地であるシリコンバレーで日々生まれる知見・技術を調査・研究し、日本に届けることで、未来を切り拓く挑戦を続けています。現地のトレンド調査や日系企業とのリレーション構築を通じ、技術力の強化に加えて、日本での新たなビジネス機会の創出に注力しています。

Point
03 産学連携



国内外の大学との産学連携・共同研究や学会活動等を通じて、革新的なキーテクノロジーを強化し、豊かな社会の発展に貢献しています。

- 東北大学 : AI新時代のデータプラットフォーム
- 早稲田大学 : EMS（エネルギーマネジメントシステム）
- 慶応義塾大学 : GIS（地理情報システム）
- 立命館大学 : IoT、サイバーセキュリティ
- ダナン大学 : スマート大学の実現

Point
04 特許



競争優位性の強化・拡充に向け、取得した新技術や蓄積したノウハウなど、独自技術の知的財産化を推進しています。

- 取得特許数 : **25件**
(2026年4月現在・累計)

注意事項

- ・本資料はいかなる有価証券の取得の申込みの勧誘、売付けの申込み又は買付けの申込みの勧誘(以下「勧誘行為」という。)を構成するものでも、勧誘行為を行うためのものでもなく、いかなる契約、義務の根拠となり得るものでもありません。
- ・本資料における将来予想に関する記述につきましては、現在における目標や見込み、予測及びリスクを伴う想定に基づいており、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements)を含みます。確約や保証を与えるものではなく、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内及び国際的な経済状況が含まれます。
- ・業績等に関する記述につきましても、信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、安全性を保证するものではありません。
- ・本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。
- ・今後、情報・将来の出来事等に変化等があった場合であっても、当社は、本資料に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。
- ・当社は、将来の事象などの発生にかかわらず、既に行っております今後の見通しに関する発表等につき、開示規則により求められる場合を除き、必ずしも修正するとは限りません。
- ・当社以外の会社に関する情報は、一般に公知の情報に依拠しています。なお、本資料に記載されている会社名及び商品名は、各社の商標又は登録商標です。

● お問合せ先



アドソル日進

本 社 東京都港区港南4-1-8 リバーージュ品川
経営企画室 広報・IR担当 (ir@adniss.jp)